

乳歯の大切な役割



かむ ～効率良く栄養素を吸収します～

たくさんかむことで、食べ物の消化・吸収が良くなります。子どもの成長・発育にはたくさんの栄養が必要ですが、その栄養を効率良く生かすためには、かむ能力(咀嚼機能)を育てることが大切です。またかむ能力の発達とともに食べ物の嗜好や食べる楽しみなど心の面も発達していきます。



話す ～正しい発音を育てます～

例えば前歯が1本なかったら「さしすせそ」を正しく発音することは大変難しくなります。これをなんとか発音しようとする、歯が欠けて息の漏れるところを塞ぐため舌が前に出ます。癖のある発音だけでなく、話し方にも癖がつくこととなります。

幼児期はたくさんの言葉を習得していく大切な時期です。きちんと歯が揃うことで発音も正しく育ちます。



導く ～永久歯を正しい場所へ誘導します～

顎の中で毎日永久歯が成長し、顎そのものも永久歯が生えてくるために成長しています。永久歯が成長すると乳歯の根は徐々に吸収されて短くなるとともに、正しい場所に永久歯を導きます。

もしむし歯ができてしまったら・・・



乳歯のむし歯は進行が早いです。また、そのあと生えてくる永久歯の歯質や歯並びに影響を及ぼします。

早めに治療しましょう。